

ロナルド・ヴェンチュラ展 — 内省

軽井沢ニューアートミュージアム 2022年4月10日まで

フィリピン現代美術家、ロナルド・ヴェンチュラは、アジアのみならず国際的なアートシーンで注目される作家のひとり。日本の美術館で初めてとなる規模個展「ロナルド・ヴェンチュラ展—内省」が、長野県軽井沢町の軽井沢ニューアートミュージアムで開催されている。古典と現代性、グローバルとローカル、日常と非日常、ポップな遊び心と鋭い批評性。さまざまな要素を織り交せた、幅広い表現世界を堪能できる。

変幻自在 進化続ける表現世界

高さ3m超、黄金の骨をたすきする犬のアイコン「ボアロ」に迎えられ、いざ6つの展示室へ。作家自身のアイデアに基づく展示は、部屋ごとに異なる世界を展開し、絵画や彫刻など計約120点で構成されている。まず足を踏み入れたのは、闇に満ちたスチールシリーズと題された漆黒の彫刻群と、映像的な組み合わせをインスタレーション。夜の海に出航した船は、またたく星座を目指すものの、漕いでも漕いでも進むことはない。そして、人と神獣を融合させたような、黒い星の像には、フィリピン土着の神も投影されているという。人類の行く末を暗示するタークファンタジーのような世界が広がる。ヴェンチュラの表現は見る者の想像力を喚起し、多様な解釈を許す。現代アートは難解と思われがちだが、おなじみのアニメや漫画、ゲームのキャラクターを参照して作品に取り込んだり、日常の生活から発想した彼の作品は、同時代を生きてきた者たちにとって共感しやすいだろう。

日常生活から発想 共感しやすい作品

「ドールアイズ」などの絵画作品は、リアルと仮想空間を切り取るように往来しつつ他者と関わっていく私たちの日常を、アイロニーを込めて描いたもの。一見、モノクローム写真の上に、二次元の少女やメタボの面のイメージを貼り付けたように見えるが、近づいて観察しては、手描きの油彩画なのだ。どこか見覚えのある奇妙なキャラクターから動物、半人半獣までポップな彫刻たちも美しく、やはり圧倒されるのはヴェンチュラの彫刀の力。メタファーであり、カオスの世界はフィリピン社会文化の複雑さを反映しているのだ。

「ス」は興味深い。遠目にぼんやり浮かんで見えたのは、19世紀フランスの画家、ドラクロワの名作「民衆を導く自由の女神」やアンリ・ルソーの「戦争のメーデー」が、実際に描かれているのは野球の乱闘シーン。飛び掛かるサルやトラ、権力に抗う人々の姿も紛れ込んでいます。

長くスペイン、アメリカなどの支配下にあったフィリピンは、自らの伝統文化を持ちながらも、外からの影響を強く受けてきた。野球とは米国文化のメタファーであり、カオスの世界はフィリピン社会文化の複雑さを反映しているのだ。

「第4展示室」

「自らの起源、アイデンティティを深く掘り下げ、内省」するヴェンチュラ。決して回顧展ではなく、彼の進化の過程を見せるための展覧会。石川さん。彼が好んで生み出すキメラのまに、創作してみた。進化を遂げるのが楽しくなると。



《オーバーディフェンス》
2017年 油彩・キャンバス 182.9×274.3cm



《波》
2016年 ガラス繊維、樹脂、木、ビデオプロジェクション、音 139.7x411.5x76.2cm
※本作品は「プラクティスシリーズ」と本展の特別コラボレーション企画として展示しています。

《ドールアイズ2》
2020年 油彩・キャンバス 121.9×182.8cm



ロナルド・ヴェンチュラ (1973年～)

フィリピン・マニラ生まれ。アジア最古の大学でフィリピン・マニラにある聖トマス大学を卒業後、2011年にはサザビーズ(香港)で絵画《Grayground》が東南アジアのアーティストとして最高額で取引される。以後、アメリカ、ヨーロッパ、アジア各国のギャラリーや美術館で紹介され、現代美術の最先端として高い評価を受けている。彼の創作する絵画と彫刻は、その比喩的なモチーフの連鎖とともに世界の現代美術シーンで異彩を放っており、イメージとスタイルの複雑なレイヤー(層)を特徴とし、ハイパーリアリズムから漫画、落書きまでモチーフは多岐にわたる。



第4展示室

- 会場：軽井沢ニューアートミュージアム 第1～第6展示室(2階)
(長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5)
- 会期：2022年4月10日まで
- 開館時間：10:00～17:00 ※入館は閉館30分前まで
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- 料金：一般=2000円、高大生=1000円、小中生=500円
※未就学児無料 障がい者無料(付き添いの方1名は半額)
※その他詳細はHPをご確認ください
- アクセス
徒歩=JR軽井沢駅北口から8分
自動車=碓氷・軽井沢ICから20分
- 問い合わせ先
軽井沢ニューアートミュージアム 学芸課
TEL=0267-46-8691
FAX=0267-46-8692
- 美術館HP：<https://knam.jp/>
主催：産経新聞社、軽井沢ニューアートミュージアム
協賛：株式会社NEW ART HOLDINGS、株式会社ホワイトストーン
後援：駐日フィリピン共和国大使館ほか

展覧会オリジナルトートバッグプレゼント



展覧会のために作られたRonald VenturaオリジナルトートバッグはA4サイズのファイルが十分に入り、マチが約11cmある大きめサイズです。綿100%の丈夫なキャンバス生地なので、エコバッグとしてもお使いいただけます。人気の作品がブラック・レッド・ブルーでそれぞれスタイリッシュにプリントされた全3種類(2750円、税込のみ)。こちらを各3名、計9名様にプレゼントいたします。応募締め切りは10月3日(日)。当落者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

URL <https://id.sankei.jp/e/2494>

※応募には産経IDへの会員登録が必要となります。
※抽選は選べません。

こちらの商品は軽井沢ニューアートミュージアムのオンラインストアでもご購入いただけます。ご希望の方はこちらをご覧ください。
オンラインストア <http://knam.shop8.makeshop.jp/>

アジアを代表する世界のトップアーティスト、日本初の大規模個展



ロナルド・ヴェンチュラ展 — 内省

2021.8.07 SAT — 2022.4.10 SUN KARUIZAWA NEW ART MUSEUM Whistler Art Foundation



- (1) 第2展示室風景
- (2) 《いつもの時間》2010年
- (3) 《無題》2021年
- (4) 《ヒューマニムシリーズ3》2017年
- (5) 《コミック2》2020年
- (6) 《スマイル》2021年
- (7) 《ヒューマニムシリーズ》2021年
- (8) 《ボグロ》2018年

美術館公式HP <https://knam.jp/>

